

大村湾サミット



大村湾流域自治体の首長が語る～大村湾を活かしたまちづくり～

8月16日(土)に、大村湾流域自治体5市5町の広域的な連携と交流を促進し、地域の活性化を進めるため、さくらホールで「大村湾サミット」を開催。会場には、500人近くの来場があり、大村湾の活性化などについて各首長が見解を示しました。



大村湾サミット

大村湾を活かしたまちづくりについて

【東彼杵町長】湾流域自治体などで連携し、冬場の水田に水を張ることで地下水の増加を図りたい。また、大村湾に砂浜を復活させる「里海づくり」、港湾を有効活用するため大村湾クルージングを提案する。

【川棚町長】これまでさまざまな地域資源を町単独で情報発信してきたが、「大村湾地域」で連携して観光などをPRすれば効果が高まる。

【波佐見町長】農業と窯業が基幹産業であったが、近年観光に力を入れている。町の知名度を上げ、人、物、金、情報が集まる活気のあるまちづくりをすることで、湾流域の活性化に寄与したい。

【佐世保市長】ハウステンボスを核とした、観光戦略を県全体で行っていく必要がある。また、カキ殻を活用した水質浄化やアサリの養殖を湾内に広げ、「大村湾アサリ」を全国的ブランドにしていきたい。
【西海市長】大村湾で取れるさ

まざまな商品の販売利益を、大村湾の環境保全活動に充てる循環型活動を行ってはどうか。また、大村湾を代表するスナメリやハマボウの保護もあわせ持続的な環境保全を図りたい。

【長崎市長】大村湾の資源を活用した動きを1つ先に進めるためには、全体的な視点で捉える必要がある。各自自治体の活動を集め一緒に行えば次のステップが見え、いろいろな動きが生まれてくる。

【時津町長】大村湾の海底の浄化や水質の保全が重要である。また、時津町では黒ナマコを6次産業化して販売までつなげているが、水産資源の6次産業化や、大村湾クルージングでアピールしていきたい。

【長与町長】貧酸素を解消する環境対策、ペーロンを使った観光振興などに取り組んでいるが、大村湾を地域振興の拠点として地元産品の6次産業化を図っていきたい。そのためにも大村湾を浄化していく必要がある。

【諫早市長】現在、県の観光といえは、ハウステンボスや長

松本 崇 氏
—— 大村市長



田中 隆一 氏
—— 西海市長



宮本 明雄 氏
—— 諫早市長



朝長 則男 氏
—— 佐世保市長



田上 富久 氏
—— 長崎市長





山口 文夫 氏
—— 川棚町長



渡邊 悟 氏
—— 東彼杵町長



吉田 義徳 氏
—— 時津町長



吉田 慎一 氏
—— 長与町長



一瀬 政太 氏
—— 波佐見町長

大村湾フェスタ

8月17日(日)

シーハットおおむらで大村湾フェスタを開催しました。会場ではステージイベントや各市町のスイーツ、物産の販売などがあり、多くの家族連れでにぎわいました。また、大村湾クルーズ、少年少女スポーツ大会も同時開催。大村湾を通して流域自治体の皆さんと交流を深めました。

※このイベントは自治総合センターの宝くじ助成金を活用して実施しました。



大村湾を活かしていく上で必要なこと
 【長崎市長】行政主体ではなく、大村湾に関心のある民間団体や企業、大学など、さまざまな人が集まり、湾の活用を考えていく中で、徐々に愛着がわき、ブランド化が進んでいくのではないかと。

【佐世保市長】長崎空港をいかに活用するか。韓国、中国からの観光客を誘致し、長崎空港から県内、九州各地に送り出すためのアクセスが重要となる。海路や航空路などの交通インフラの整備を急ぐべき。

【大村市長】大村湾に住民がもっと触れ合う機会をつくり、美しくしたいという意識を高めて浄化につなげたい。また、大村湾魚介類のブランド化や自転車道で湾を一周するイベントなどを行いたい。

海を使った交通インフラについて
 建設したい。実現すれば日本初、世界一の長さのフロートインゲブリッジになる可能性がある。

基調講演

「夢を実現させる志と実行力」



澤田 秀雄 氏
ハウスデンボス株式会社
代表取締役社長

地域の活性化と夢をいかにして実現させるか、一番に大切なことは「夢、目標をきちんと持つ」こと。漠然とした夢ではなく、目をつぶればすぐに思い描けるような明確な夢を持つことが大切です。

次に、「強い意欲を持ち明るく元気にやること」です。夢を実現することは簡単ではなく、失敗や問題にぶつかるとも多々あります。中国に「失意泰然^{しつゐたいぜん}」という言葉がありますが、問題や失敗が起きたときこそ明るく元気にやることで早く立ち直ることができるというものです。この気持ちを持ち続けなければ必ず夢を実現できません。

最後に、「チャレンジ」です。ルールにとらわれたり失敗を恐れてチャレンジしないことが多い。しかし、時代の変化に対応していくためにはチャレンジして新しい物を生み出さないといけない。私は失敗してもいいと思います。ただ、失敗を失敗として終わらせず、改善して成功につなげていくことが重要だと考えます。

民間事業でも地域でも同じですが、ここでしかやっていないこと、できないことを「オンリーワン、ナンバーワン」として見つけ出すことが重要です。(要約)